

第三屆

關西大學・臺灣大學研究生共同發表會



2017年4月22日「第三屆臺灣大學・關西大學研究生聯合發表會」於臺灣大學文學院會議室，在微涼的晚春細雨中順利召開。

臺灣大學日本研究中心主任徐興慶教授於開幕致詞中，向松浦章教授對兩校合作間的諸多提攜表達感謝及期盼之意。透過發表會論文集的出版，對提攜年輕世代的日本研究跨出了

2017年4月22日、「第三回台湾大学・関西大学大学院生合同発表会」が台湾大学文学院会議室において開催された。開会の挨拶では、台湾大学日本研究センター主任徐興慶教授が「松浦章・中谷伸夫両教授のご尽力で、さまざまな提携が実現したことに感謝したい。また、去年発表会の論文集を刊行できたことで、若手日本研究者の育成という目標の上で新たな一步を踏み出すことができたのではないかと思います」と述べ、本年度で退職する辻本雅史教授へも惜別と感謝の意を表し、和やかな雰囲気での発表会が始まった。



▲中心主任徐興慶教授致詞

今回の基調講演は、辻本雅史教授と松浦章教授の2本立てであった。辻本教授の講演は日本の「17世紀のメディア革命」をふまえ、貝原益軒

第三回 関西大学・台湾大学大学院生共同発表会

2017.04.22

6



新的一步。並同時向本年度即將從台大卸任的本雅史教授表達惜別感謝之意。發表會在一片和氣靄靄中揭開序幕。

本次兩場專題演講分別由本雅史教授與松浦章教授發表。

本教授的演講以17世紀的「媒體革命」為背景，從知的傳達媒介視點比較貝原益軒與石田梅岩的思想意涵。松浦教授的演講則簡明地談論了關於現在也依然馳名世界的台灣烏龍茶，在日治時期是如何由世界各國的往來商船送往全世界，對日治時期台灣海港的發展與國際貿易進行提供了具體的圖像。

緊接在專題演講之後的是研究生的8篇論文發表，在兩校各自不同領域的優秀學生和教授群熱切地討論與交流中順利進行，收穫滿載。最後由臺灣大學日文系系主任范淑文教授致詞感謝所有與會者的熱情參與並期許未來更上層樓，結束本次發表會。◆



▲與會者提問



と石田梅岩の思想の意味を、知の伝達のメディアの視点から比較して論じた。松浦教授は現在でも世界で名を馳せる台湾烏龍茶をテーマに、日本統治時代はどのように世界各国から来る商船で世界中に輸送していたのか、この時期の台湾の港の発展と国際貿易について具体的に解説した。

基調講演後は大学院生による発表があわせて8篇件、両校のさまざまな分野の優秀な学生と教授陣による熱心なディスカッションと交流が行われ、大変実りある会となった。最後は、台湾大学日文系主任の范淑文教授が参加者の積極的な取り組みに感謝を述べ、また今後のさらなる発展を祈願し、今回の発表会は幕を閉じた。◆

第三屆

關西大學・臺灣大學研究生共同發表會

7

第三屆 關西大學・臺灣大學研究生共同發表會 議程

專題演講

發表者：辻本雅史（臺灣大學日文系教授兼日本研究中心執行委員）

講題／テーマ：益軒と梅岩

—民衆のための学の争奪—



▲辻本雅史教授



▲松浦章教授

發表者：松浦章（關西大學名譽教授）

講題／テーマ：日治時代台湾烏龍茶と汽船の海外搬出

論文發表①

發表者：坂本美樹（關西大學大學院東亞文化研究科博士後期）

講題／テーマ：平安時代の〈歌道〉と〈魔〉

發表者：李志鴻（臺灣大學歷史學系博士班）

講題／テーマ：八世紀東亞佛教王權與女帝：以孝謙天皇為中心



▲主持人曹景惠副教授

發表者：吳慈芳（臺灣大學日本語文學系碩士班）

講題／テーマ：西川満のエキゾチシズムにおける女性幻想—「楚々公主」を中心に—

論文發表②

發表者：豊田郁（關西大學大學院東亞文化研究科博士後期）

講題／テーマ：『歐洲藝術巡禮紀行』にみる国画創作協会同人の欧州遊学

發表者：原田喜子（關西大學大學院東亞文化研究科博士後期）

講題／テーマ：柳宗悦の展示創作過程—日本民藝館—



▲主持人中谷伸生教授

第三回 関西大学・台湾大学大学院生共同発表会

2017.04.22

8

論文発表③

発表者：曹悦（関西大学大学院東亜文化研究科博士後期）

講題／テーマ：清代中国篆書書法在日本的接受情況

発表者：高絵景（関西大学大学院東亜文化研究科博士後期）

講題／テーマ：晩明書風の変更について

論文発表④

発表者：何娟娟（関西大学大学院東亜文化研究科博士後期）

講題／テーマ：簡述清末廣西省引進日本版紙幣

発表者：趙思倩（関西大学大学院東亜文化研究科博士後期）

講題／テーマ：19世紀英國之中國綠茶的檢測報告
—以英國早期化學分析法與偽綠茶爲例

発表者：李盈君（臺灣大學日本語文系學系碩士班）

講題／テーマ：台湾における日系外来語に関する考察
—「ゆるキャラ」を例



▲主持人林立萍教授

論文発表⑤

発表者：吳征涛（関西大学大学院東亜文化研究科博士後期）

講題／テーマ：『日治時期臺灣木炭產業的發展狀況初探』
—以《臺灣日日新報》爲中心

発表者：陳偉智（臺灣大學歷史學系博士班）

講題／テーマ：攝影作為民族誌方法：日治臺灣殖民地人類學的寫真檔案



▲主持人甘懷真教授